

大島新校舎で2学期スタート

校長 川口 真澄

長い夏休みが終わり、待ちに待った大島新校舎での学校生活が始まりました。

「校舎の中は、どんなの?」「教室はどうなっているの?」「体育館は?」

8月の登校日並びに内覧会では、在校児童・生徒、保護者、関係機関、地域の皆様約300人の方々が熱心に御覧になりました。新校舎を温かく笑顔で迎えていただいたこと、子供達が落ち着いて各教室に入ってくれたことに、教職員は思わず顔がほころび、移転と2学期の準備に費やした今夏の汗と時間が価値あるものに思えました。

子供達の中には、スクールバスから降車して新校舎の玄関を見てしばし立ち止まる子、新しい下足箱に付けられた自分の名前やしるしを見つけてうれしそうに靴を履き替える子、しばらくの間玄関のベンチでまわりの様子をながめる子、「体育館、いいです。」と説明してくれる子、鏡に見とれる子、特別教室の椅子に座って友達とお話する子、みんな期待と不安をのぞかせつつも、それぞれがその子なりの方法で新しい環境に一生懸命慣れよう、楽しもうとしています。

移転に際しましては、保護者、大島の地域の皆様、就学前機関や放課後デイサービス等関係機関の皆様、江東区教育委員会、母体校の江東特別支援学校並びに都教育庁の関係者の皆様に大変お世話になり、心より感謝申し上げます。平成28年9月を無事に大島地区で迎えられましたことは、みなさまの御理解と御協力のおかげです。ありがとうございました。

本校は2学期からも、「信頼に基づき、学びあいの中で能力を伸ばす活力ある学校」をめざし、さまざまな教育活動において全教職員が強い決意のもとに取り組んでいきます。新たな学校環境では、校内の仕組みやルールが変わります。また、新たな地域で、都立特別支援学校としての社会的責任も問われます。そのために、まず校訓「共に学び 共に伸びる」を基とし、児童・生徒が、保護者、教員、新たな地域の方々と共に学び、共に伸びるように、一人一人の本校での就学期を尊重し、授業を大切にしていきます。また、一人一人の人権を尊重し、全教職員が安心・安全な環境づくりに新校舎の整備に努めます。子供達の「学びたい」「伸びたい」「安心して笑顔ですごしたい」「一緒に喜びたい」という思いや願いをきちんと受けとめ、これからも信頼を築いていきます。今学期も引き続きまして、本校の教育活動への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



お知らせ

小学部2年学年担任 石塚主任教諭が8月30日より、出産休暇に入りました。つきましては、1学期に時間講師として2年を一部担当していた大石講師が代替として今後指導に当たります。御理解のほどよろしくお願いいたします。